

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

令和8年度 学校紹介号

校長 楠山 小百合

茅ヶ崎市立汐見台小学校へようこそ

学校教育目標

『 のばす・つなぐ・ささえあう 』

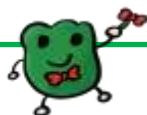
- ・未来に向かってそだてよう「のびる ちから」 自己を知る
自らの可能性を信じ、目標に向かって粘り強く努力する力を伸ばします。
- ・今を大切にしていはぐくもう「つなぐ ちから」 世界を知る
身の回りの自然や社会、そして新しい知識と自分自身を豊かにつなぎます。
- ・仲間とともに生きよう「ささえる ちから」 他者を知る
多様性を認め合い、お互いを思いやりながら、共に協力して生きていく力を育みます。

汐見台小学校は、平成23（2011）年に開校した、茅ヶ崎市内で最も新しい小学校です。新設校ならではの「はじまり」や新鮮な「出会い」を大切にしながら歩みを進め、おかげさまで開校から15年が経ちました。これまで地域や保護者の皆様に温かく支えていただきながら、子どもたちは恵まれた環境の中で健やかに成長しています。

本校は、全校児童 240名（通常学級10、特別支援学級4 ※令和8年4月1日現在）の小規模校です。1学級の人数も 20人前後ときめ細かな対応が行き届く規模であり、学校全体がまるで「ひとつの大きな家族」のようなあたたかさやふれあいに満ちています。一人ひとりの個性を互いに受けとめ、認め合い、支え合いながら、日々充実した学校生活を過ごしています。

子どもたちが夢と希望を胸に抱き、自らの可能性を拓いていく力、そしてこれからの社会をよりよく生きていくための力を育むため、私たちは「ひと・もの・こと」との多様な関わりを大切にしています。子どもたちを中心に据え、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員が力を合わせて「学ぶところが輝く学校」づくりを目指しています。

【汐見台小学校 特色紹介】



めぐまれた施設・豊かな自然をいかした教育活動



～ 汐見台小ならではの「ひと・もの・こと」との関わり ～



1. 学びを広げる「オープンスペース型校舎」

☆多様な活動に対応する共用空間

各教室には広々としたオープンスペースが隣接しています。学級や教科の枠を超えた多様な活動や、学年合同の学習などに柔軟に対応できる設計です。

☆活動に合わせた空間づくり

教室と教室の間の壁は閉めることも可能です。一斉授業で集中したい時、グループワークで広々と使いたい時など、学習活動に応じて最適な環境をつくります。



2. 伝統の「屋上田んぼ」とSDGs環境学習

☆5年生がつなぐ米作りと「汐小米（しおしょうまい）」

屋上の田んぼで5年生を中心に田おこしから稲刈りまでを行います。1年生は代かきを兼ねて「どろんこあそび」を体験し、5年生と一緒に楽しめます。さまざまな学年の児童も昼休みに集まり、お手伝いをしてくれる『汐小みんなの田んぼ』です。収穫した「汐小米」は、全校児童が給食にて味わいます。



☆湘南の海を教材にしたSDGs学習

目の前の湘南海岸（汐小前）を舞台に、ビーチクリーン活動や砂防林の松を題材にした学習を展開し、身近な大自然からSDGsをふまえた環境意識を育んでいます。



3. 絆を深める縦割り異学年活動「汐小のわ」

☆学年を超えた「大きな家族」のような繋がり

1～6年生を10グループに分けた縦割り活動です。「1年生を迎える会」やグループごとのゲームや工作などを通して、大切な絆を深めます。

☆最高学年としての成長と感謝の心

最後の「スペシャル汐小のわ」は、下級生から卒業する6年生に感謝を伝え、6年生が「この繋がりを大切にしてほしい」と次の汐見台小学校をつかっていくバトンを繋ぐ、心に深く刻まれる活動です。



4. 心と体を育む「おいしい給食」と食育の推進

☆工夫を凝らした給食と五感で学ぶ食育

茅ヶ崎産の食材を使用したメニューや最新の調理器具を使用して調理した季節のメニューなど、さまざまな工夫をしています。そらめめ等の皮むき体験、給食場の見学ツアー、給食委員会主催の「豆つかみ大会」など楽しい食育活動が豊富です。また、屋上や2階テラスなど、普段は給食を食べることのできない特別な場所で、各クラスや学年のみんなと給食を食べる「汐風ランチタイム」を実施しています。



☆地域や未来の仲間へ広がる輪

保護者や新1年生を対象とした「給食試食会」を開催し、学校の魅力を地域に開いています。